

どっこい！元気だぜー！年金者組合



4月2日、大阪市北区民センターにおいて、14時から『改憲阻止・憲法を活かす国づくりを！1万人組合員実現、春の月間スタート集会』が305名以上の元気高齢者が集い、意気高らかに成功しました。

アベノミクスってなに？見せかけの賃上げ、株高、円安でいかにもそれらしく、デフレの解消を演出し、年金者生活者や弱者にただただ我慢をしいる消費税増税、年金の引き下げ等を正当化する以外のなにものでもありません。

集会では、松井委員長からは、基調報告と4月19日上京団の紹介がされ、また、勤労協の中田先生が面白くて分かりやすく「平和・民主主義・生きる権利・年金者組合への期待」と題して、講演をしました。また、その後パレードを市役所まで、小雨のなか雨にも負けず最後まで、元気にやりきりました。年金者組合から提供



春闘回答速報

*化学一般...経営状況が厳しい支部では低額回答もありますが、賃上げ回答平均では昨年よりも若干のプラスとなっています。賃上げ要求に対しては厳しい抵抗にありますが、諸要求では、非正規労働者の賃金引き上げ、育児短時間勤務対象期間の延長(小学3年始期まで)といった育児に関する要求の前進、休暇に関する改善などを勝ち取っています。

一方、4月に改正された高齢者雇用安定法に関しては、再雇用基準の拡大解釈や悪用を許さないことを確認しつつ改善をすすめ、賃金アップも勝ち取っています。

現在も多くの支部が賃金カーブ維持のための賃金構造維持分確保は当たり前だとして、奮闘を続けています。

変えよう職場・地域と政治、勝ちとろう賃金・雇用・くらしの改善